

MR

Minority Report 号外

ます 秀行

みんなの党 江戸川区議会議員

Minority Report とは、直訳すると「少数派意見の報告」となります。民主主義政治の世界では多数決により Majority(多数派)が選択されますが、時にはその少数意見もやがては多数派となる事も珍しくありません。私は、正しくも埋没しそうな少数派の意見こそ大切に
する活動家でありたいとの思いを込めてネーミングしました。



表面: 江戸川区議会はこの構図になっている! 裏面: 区政報告会のご案内

★★

各政党の考え方や、国会での立ち位置などは新聞・テレビ等で報道されますが、**地方議会である江戸川区議会は報道も少なくなかなか中身が見えてこない**。こんなご意見から、最近の議会での議案賛否の姿勢などを参考にし、現在の江戸川区議会の構図を下記のように読み解いてみました。

江戸川区議会の構図

みんなの党	基本姿勢	自民・公明・民主
無駄な事業の削減	都民税・区民税 <small>第二回定例会 43号議案への賛否</small>	区長提案の議案丸飲み
増税反対(その前にやる事がある)	産業・福祉政策	増税推進
民間主導/NPO 活用 (規制緩和)	教育政策	行政主導(高コスト体質)
教育委員会のあり方見直し	入札制度 <small>(学校改築の大型工事物件等)</small>	継続路線
区外業者へも広く開放		区内業者優先 (現状維持)

国会の議員内閣制とは異なり、地方議会は二代表制という制度を採用しています。簡単に言えば、議会が首長を監視する形です。**地方自治体の首長ともなれば、予算執行権や人事権をはじめ、とてつもない権力を有しています**。その権力行使が間違った方向にいかないようにと、区長の耳が痛い事でも遠慮なく指摘していく事こそ議会が持つ本来の役割なのです。

みんなの党は、他党のように**区長の提案を丸飲みするような態度はとりません**。区長や区役所側から見れば、きつい事を言ってばかりの煙たい存在かも知れませんが、それが本来の議員の仕事なのです。**議会と首長と役所が慣れ合いになってしまえば、議会は機能しなくなります!!**

★★

【榎 秀行・プロフィール】 昭和 50 年埼玉県生まれ。37 歳。南葛西在住。関東学院大学法学部卒業。10 年間の民間企業勤務を経て、2011 年 4 月、江戸川区議会議員初当選。地域主権型道州制国民議会 江戸川区支部長、みんなの党東京都江戸川区議会第 3 支部長、江戸川区時事問題研究会議員サポーター、東京特別州政治家連盟事務局長、龍馬プロジェクト全国会正会員 公式サイト:www.masu-hideyuki.com E-mail info@masu-hideyuki.com

FAX03-6663-8001 電話 03-6662-7890 事務所 : 江戸川区南葛西 7-5-16B305 号 ご意見・ご要望をお待ちしています。本紙の続きはブログにて!

